

# 医薬品産業の振興とそれを担う専門人材育成・確保

## ○事例概要

「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアムでは産学官が連携し、富山県の医薬品業界で活躍する人材の育成や、アカデミア発研究シーズの実用化を目指しています。

## ○事業の取り組み内容

### 人材育成事業

富山県薬業連合会・富山大学・富山県立大学・県薬事総合研究開発センターが協力連携して、製薬・創薬を体系に学べる「ネクスト・ファーマ・エンジニア養成プログラム」を実施。学生向けのみならず、社会人のアップスキリングにも役立つ人材育成事業を展開しています。これらの教育プログラムにより、医薬品産業の次世代を担う人材育成に取り組んでいます。



全国の学生が富山県内製薬企業で研修



バイオ医薬品専門人材育成研修

### 研究開発事業

「創薬」と「製薬」の2つの「つくる」にフォーカスした研究テーマを推進しています。

#### 研究テーマの具体例

#### 小さなお子さんや高齢者が服用しやすいミニタブレットの開発

直径2～3ミリのお薬「ミニタブレット製剤」は、飲み込むことが難しい小児や高齢者にとって服用しやすく、利便性の高い剤型ですが、その製造には高度な技術を要します。県薬事総合研究開発センターでは、超精密な金属加工技術を持つ県内企業と協力し、高品質のミニタブレットを製造する技術を開発しました。



試作したミニタブレット(左)と一般的な錠剤

## がん患者さんを対象に心身状態の問診を在宅でも行える観察研究

富山大学附属病院 臨床研究開発推進センターでは、従来は紙で行われていた問診を、スマートフォンを用いて在宅でも行える仕組みを構築しました。がん患者さんの利便性向上と、医師など医療スタッフとのより円滑なコミュニケーションの実現を目指しています。

